

「パートナー医薬品化学 改訂第2版」

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）対応一覧

2015.3 (株) 南江堂

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム		本書の対応章
C4 生体分子・医薬品の化学による理解		
(3) 医薬品の化学構造と性質、作用		
① 医薬品と生体分子の相互作用	1. 医薬品と生体分子との相互作用を化学的な観点（結合親和性と自由エネルギー変化、電子効果、立体効果など）から説明できる。	1章
② 医薬品の化学構造に基づく性質	1. 医薬品の構造からその物理化学的性質（酸性、塩基性、疎水性、親水性など）を説明できる。 2. プロドラッグなどの薬物動態を考慮した医薬品の化学構造について説明できる。	(各章)
③ 医薬品のコンポーネント	1. 代表的な医薬品のファーマコフォアについて概説できる。	1章2
	2. バイオアイソスター（生物学的等価体）について、代表的な例を挙げて概説できる。	7章2
	3. 医薬品に含まれる代表的な複素環を構造に基づいて分類し、医薬品コンポーネントとしての性質を説明できる。	3章
④ 酵素に作用する医薬品の構造と性質	1. ヌクレオシドおよび核酸塩基アナログを有する代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	3章3
	2. フェニル酢酸、フェニルプロピオン酸構造などをもつ代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	2章2
	3. スルホンアミド構造をもつ代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	2章5
	4. キノロン骨格をもつ代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	3章3
	5. β-ラクタム構造をもつ代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	7章3
	6. ペプチドアナログの代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	7章2
⑤ 受容体に作用する医薬品の構造と性質	1. カテコールアミン骨格を有する代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	5章1
	2. アセチルコリンアナログの代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	4章
	3. ステロイドアナログの代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	6章
	4. ベンジアゼピン骨格およびバルビタール骨格を有する代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	3章3
	5. オピオイドアナログの代表的な医薬品を列挙し、化学構造に基づく性質について説明できる。	5章6
⑥ DNA に作用する医薬品の構造と性質	1. DNA と結合する医薬品（アルキル化剤、シスプラチン類）を列挙し、それらの化学構造と反応機構を説明できる。	1章1, 3章3
	2. DNA にインターカレートする医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。	1章1, 3章3
	3. DNA 鎖を切断する医薬品を列挙し、それらの構造上の特徴を説明できる。	3章3
⑦ イオンチャンネルに作用する医薬品の構造と性質	1. イオンチャンネルに作用する医薬品の代表的な基本構造（ジヒドロピリジンなど）の特徴を説明できる。	3章3 ほか